

2025 年度 冬の企画展 開催告知**国松希根太 連鎖する息吹**会期：2025 年 12 月 13 日（土）－2026 年 5 月 10 日（日）**十和田市現代美術館**

青森県十和田市奥入瀬のブナ。この木を含め制作し、新作を発表予定
撮影：小山田邦哉

北海道を拠点とし、近年道外でも注目される彫刻家 国松希根太の美術館での初個展

十和田市現代美術館では、2025 年 12 月 13 日（土）－2026 年 5 月 10 日（日）まで、北海道を拠点とする彫刻家 国松希根太の美術館での初の個展を開催します。

国松は 00 年代初頭より、北海道中南部の白老から内陸に位置する飛生の旧小学校を改造した「飛生アートコミュニティー」を拠点に活動してきました。北の大地で長い年月を経て独自のフォルムを形成した木々と出会うことで作品を制作、近年はとりわけ地平線や水平線、山脈、洞窟などの風景の中に存在する輪郭（境界）を題材に彫刻や絵画、インスタレーションなどを発表しています。木の表面や内部に鑿や火を入れたり、鉱物や雪など大地の素材に向き合い生まれる作品は、国松と自然との一期一会のコミュニケーションといえるでしょう。飛生アートコミュニティーではまた、敷地内の森を守りながら、2009 年より飛生芸術祭を開催してきました（今年は 9 月 6 日（土）－14 日）。そして国松は、2010 年代半ばより近隣のアヨロと呼ばれる地域を中心に土地を探索するフィールドワークを Ayoro Laboratory として展開しています。

本展は、国松の代表的な作品に出会っていただくまたとない機会となるだけでなく、彼が十和田の自然と出会うことで生まれた新作を披露する初の機会となります。

加えて、国松の多岐にわたる活動－飛生アートコミュニティーや Ayoro Laboratory、そして父の國松明日香（彫刻家）や祖父の国松登（画家）へと連なる作家の系譜－も紹介いたします。

本展を通して、作品からの息吹、国松の息吹、大地の息吹、そして時間や空間を介して人々に連鎖しつづける創造の息吹を感じていただければ幸いです。

※展示の詳細は 9 月頃にご案内をお送りいたします

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

国松 希根太（くにまつ・きねた）



撮影：笹島康仁

1977年北海道生まれ。多摩美術大学美術学部彫刻科を卒業後、2002年より飛生アートコミュニティ（北海道、白老町）を拠点に制作活動を行なう。また Ayoro Laboratory (2015-)の活動を立石信一（現：国立アイヌ民族博物館学芸主査）と展開、飛生アートコミュニティで結成されたアーティスト・コレクティブ THE SNOWFLAKES (2020-)の一員としても活動を続ける。近年の主な個展に「国松 希根太展 TERRA」（t.gallery、東京、2024）、「国松 希根太展 地景を刻む」（飛生アートコミュニティ、白老、2022）が、グループ展に「ART for EXPO 2025」（夢洲、大阪）、札幌国際芸術祭 2024（未来劇場[東一丁目劇場施設]、札幌）がある。昨年『国松 希根太 この地で息吹く』（求龍堂、2024）を刊行。

<https://kinetakunimatsu.com/>



作家のアトリエである「飛生アートコミュニティ」での制作風景
撮影：山本昌弘

右 2 点：作家の活動拠点、飛生アートコミュニティで、2009 年より開催している「飛生芸術祭」の様子。年に一度の森や校舎が公開される場でもあり、飛生で制作された作品を見ることができる。

2025 年は 9 月 6 日（土）－14 日（日）に開催。

主催：飛生アートコミュニティ <https://tobiu.com/>



【 参考作品 】



左から 2 点：《WORMHOLE》2025 年 約 390×120×100cm 木（ミズナラ）
2025 年日本国際博覧会 展示風景 展示場所：コネクティングゾーン ポップアップステージ北 空の広場
撮影：忽那光一郎



《WORMHOLE》2024 年 札幌国際芸術祭 2024 展示風景
撮影：藤倉翼



《COSMOS》2024 年 90×90cm
板にアクリル絵の具／鉄
撮影：瀧原界



《ICE CAVE》2024 年 40.5×36.5×30cm
木（センノキ）に胡粉
撮影：瀧原界



《GLACIER MOUNTAIN》2024 年
17.5×60×29cm
木（イチイ）に胡粉と土
撮影：国松希根太



《HORIZON》2017 年 80×180cm
板にアクリル絵具と木炭／鉄
撮影：瀧原界

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 開催概要 】

展覧会名： 国松希根太 連鎖する息吹
会 期： 2025 年 12 月 13 日（土）－2026 年 5 月 10 日（日）
開館時間： 9：00－17：00（入場は閉館の 30 分前まで）
休 館 日： 月曜日（祝日の場合はその翌日）
会 場： 十和田市現代美術館
観 覧 料： 一般 1800 円（常設展含む）、高校生以下無料
主 催： 十和田市現代美術館
企 画： 四方幸子

十和田市現代美術館

2008 年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示しています。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができます。

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com



【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : media@towadaartcenter.com

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

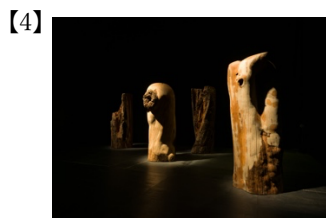
十和田市現代美術館 広報 大谷 行



青森県十和田市奥入瀬のブナ
撮影：小山田邦哉



【2】 【3】 《WORMHOLE》 2025 年 約 390×120×100cm 木（ミズナラ）
2025 年日本国際博覧会 出展作品
展示場所：コネクティングゾーン ポップアップステージ北 空の広場
撮影：忽那光一郎



《WORMHOLE》 2024 年
札幌国際芸術祭 2024 展示風景
撮影：藤倉翼



《COSMOS》 2024 年 90×90cm
板にアクリル絵の具／鉄
撮影：瀧原界



《ICE CAVE》 2024 年 40.5×36.5×30cm
木（センノキ）に胡粉
撮影：瀧原界



《GLACIER MOUNTAIN》
2024 年
17.5×60×29cm
木（イチイ）に胡粉と土
撮影：国松希根太



《HORIZON》 2017 年 80×180cm
板にアクリル絵具と木炭／鉄
撮影：瀧原界



国松希根太 撮影：笹島康仁



十和田市現代美術館

媒体名

媒体ジャンル 新聞／雑誌／美術誌／テレビ／WEB／その他（ ）

御社名

御担当者名

所在地 〒

電話

メールアドレス

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 media@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com